

# *Keisen Wild Rose Garden*

～オーガニックの野ばらの庭～

ガイドブック

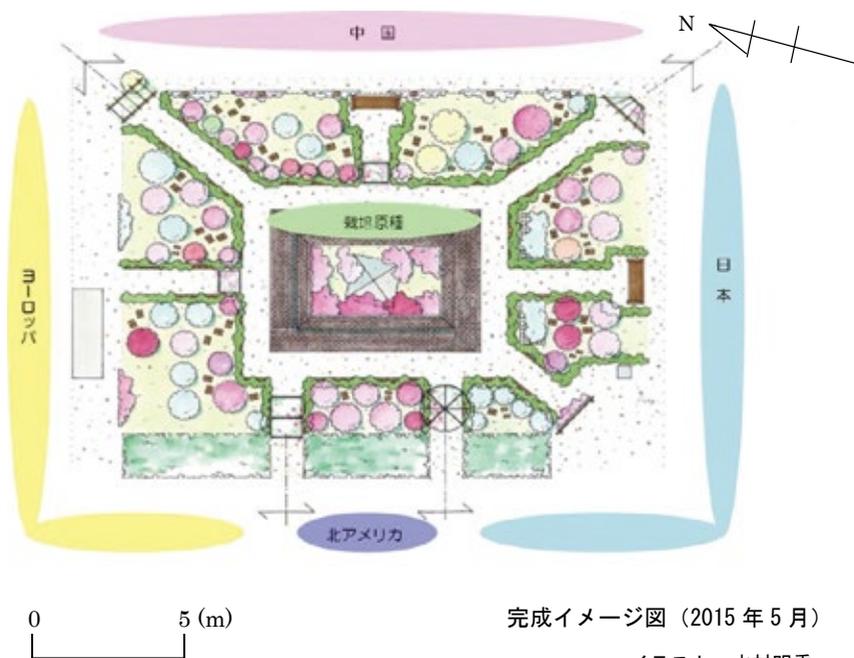


恵泉女学園 花と平和のミュージアム バラ園運営委員会

## Keisen Wild Rose Garden ~野ばらの庭~

一般的なバラ園を頭に思い浮かべてこのバラ園をご覧になると、一重や小ぶり、そして地味なバラが多いのに驚かれる方も多いことでしょう。それほど現代の園芸種のバラと野生種の間には開きがあります。現代のバラにいたるまでに、美しさを求めての人々の努力がいかにあつたことか。その過程を科学的、歴史的に追及し、あるいはロマンチックな想像に胸をふくらませる、ここはそんなバラ園です。

野生種を集め、環境負荷の少ないオーガニック（無化学肥料、無農薬）のこの野ばらの庭は、華やかなモダンローズのバラ園とは趣が異なりますが、一重の小さな花や実を楽しみながら、バラの歴史に思いを馳せることのできるガーデンです。



このバラ園は、学園創立 80 周年記念事業「花と平和のミュージアム」の一環として、同窓会与学園の協働で 2012 年度から南野キャンパスにつくり始めました。

バラ園づくりに先立ち、関係者が集まり開かれた 2011 年 12 月の検討会では、大学の園芸担当者から次のような希望が出されました。

- ・自然環境や生物多様性への配慮といった視点での新しい取り組みを目指したい。そのためにオーガニック(無化学肥料、無農薬)のバラ園にしたい。
- ・日常管理は学生だけでは技術的に難しいため、卒業生に指導していただきながら、一緒につくっていききたい。その理由は、学生がバラ園づくりにゼロから携わり、大変な思いもすることでバラが根付き咲いた時の喜びが大きくなる。また、様々な方々との交流を重ね、成長する場にしたいからである。

それに対し、植栽設計をしていただいた野村和子先生より、

- ・人間に都合のよいものだけを残していたら、自然のバランスが崩れる恐れがある。地球規模で考えた時に自然と共存していくことが大事。
- ・いろいろ植えて、枯れずに残ったものを生かすという方法がある。私の自宅も恵泉蓼科ガーデンもその方法でその土地に合う強いものが残っており、それほど手間をかけなくても、他で見るより美しい花を咲かせる。

とアドバイスをいただきました。

野村和子先生や同窓生、公開講座「バラを学ぶ」の受講生など諸先輩方と学生と一緒にバラ園をつくる楽しさを味わう。野生種のバラを栽培することで自然の営みに着目し、自然との共存、持続可能な生き方を探る。これらを目的とし、フィールドミュージアム“未来のバラ園”をテーマに、つぎのような観点で取り組んでいます。

- ・野生種のバラを、北半球の 4 つの地域（北アメリカ、ヨーロッパ、中国、日本）に分けて植栽する。
- ・学生/観賞者の健康や生物多様性など、身近なところから地球環境に配慮し、無化学肥料、無農薬で栽培する。さらに、将来的に無化学肥料、無農薬で栽培できるバラを地域社会へ提案することを視野に入れる。
- ・人と植物の自然史/文化の関わりを理解する学習のフィールドとする。
- ・遺伝子資源として野生種のバラを保全する。

*Keisen Wild Rose Garden*は、2012年から学生、教職員、同窓生、公開講座の受講生が草取りや石拾いから植え付け、剪定、誘引、通路整備などを行っています。2013年6月から野村和子先生が届けてくださった苗を順次植え付けました。2014年4月には同窓生をはじめ多くの方々から寄せられたご寄付で、入口のアーチとガゼボの材料を購入し、皆でつくりました。その後も寄付をいただく都度、パーゴラやトレリス、ベンチなどを設置しています。入口には、寄贈されたアンネのバラと呼ばれている *Souv d'Anne Frank* と *Peace* を2017年春に植えます。

多くの皆さまのご支援により、このバラ園はつくられています。



2012年9月  
チガヤ取り



2014年5月  
ヨーロッパの野生種の植付け

2014年4月  
アーチ設置



## バラ園づくりの軌跡

年月	作業内容(抜粋)
2012年9月	草(チガヤ)取り
2013年6月	北アメリカの野生種の植え付け
12月	ヨーロッパの野生種の植え付け
2014年2月	栽培原種 (p6 参照) の植え付け
4月	入口のアーチとガゼボ設置
5月	ヨーロッパの野生種の植え付け
2015年1月	中国の野生種の植え付け
2月	日本の野生種の植え付け
3月	パーゴラ設置
2016年1月	ヨーロッパの野生種の植え付け
2月	アーチの設置、日本の野生種の植え付け
3月	北アメリカの野生種、タイムの植え付け
4月	中国の野生種の植え付け
5月	トレリス、ベンチ設置
6月	日本の野生種の植え付け
11月	オベリスク設置



2015年2月  
日本の野生種の植え付け

2015年3月  
パーゴラ設置



## バラの野生種について

バラはバラ科バラ属に属する植物の総称です。自生種は北半球にのみ約 150 種といわれています。もっとも多く分布しているのが中国で約 90 種、次いで北アメリカ、ヨーロッパ、日本にそれぞれ約 20 種、その他、朝鮮半島、北アフリカ、インドなどにも 1~2 種ずつ分布しています。*Keisen Wild Rose Garden*では、北アメリカ、ヨーロッパ、中国、日本の 4 つのエリアに分けて代表的な野生種を植えました。

それぞれの特徴を次に記します。



## 栽培原種

バラ園の中心部分には現代のバラに至る改良の基本種となった栽培原種、つまりガリカローズ、ダマスクローズ、アルバローズ、ケンティフォリアローズ、そして現代バラの第1号ラフランスが植栽してあります。周囲の野生種と見比べてその違いを見出すことも意義あることといえるでしょう。

ロサ・ガリカ・ウェルシコロール  
*Rosa gallica* var. *versicolor*



2015. 5. 19

ラフランス  
La France



2015. 5. 7

ロサ・ダマスケナ・ビフェラ  
*Rose × damascene* var. *bifera*



2015. 5. 19

ロサ・ケンティフォリア  
*Rosa × centifolia*



2015. 5. 19

数字は撮影日を表しています。

## 北アメリカの野生種

北アメリカの野生種はピンクの花色、真っ赤な直径1センチくらいの丸い実、そして葉が赤く色づくものが多いことが特徴です。その年の気候にもよりますが、紅葉した葉の中に真っ赤な実が覗く光景は見事です。株はコンパクトなものが多いので、庭で野生種を育ててみたい方にはお薦めです。

ロサ・ヌトカーナ  
*Rosa nutkana*



2015. 5. 7

ロサ・セティゲラ  
*Rosa setigera*



2015. 6. 10



2015. 5. 19



2015. 9. 16

## ヨーロッパの野生種

代表的なものはヨーロッパのほぼ全域に自生するロサ・カニーナ。接ぎ木の台木にもされ、その実は乾燥してローズヒップティーなど食用にもされています。ロサ・エグランテリアは、美しい花を咲かせるだけでなく、葉をこすると青りんごの香りがするためハーブとしても扱われます。

ロサ・カニーナ  
*Rosa canina*



2015. 5. 5

ロサ・エグランテリア  
*Rosa eglanteria*



2015. 6. 10



2016. 10. 28



2016. 10. 28

## 中国の野生種

多くの野生種が分布していますが、なかでもロサ・キネンシスは現代バラに四季咲き性をもたらすという、多大な役割を果たしています。花色や樹形も多岐にわたり、なじみ深いモッコウバラの原種も中国原産のバラです。他にもそのまま観賞用として利用される種類が多くあります。ロサ・マリガニーやロサ・マルチフローラ・カタイエンスのたわわな実（ヒップ）は見応えがあります。

ロサ・バンクシアエ・ルテスケンス  
*Rosa banksiae* f. *lutescens*



2016. 5. 6

ロサ・マリガニー  
*Rosa muliganii*



2015. 5. 25



2016. 6. 17



2016. 10. 28

## 日本の野生種

ハマナシ、カラフトイバラ、タカネバラなどピンクの花をつけるものも数種類ありますが、多くの種類はノイバラのような小さい白い花をつけます。ノイバラは日本では接ぎ木の台木にされるほか、現代バラに房咲き性を伝える等の役割を果たしています。また実は「まじつ營実」の名で日本薬局方に登録もされています。テリハノイバラはつるバラの基となり、ハマナシからは多くの園芸品種が生まれるなど、日本の野生種が現代バラにもたらした影響は多大です。

ヤエハマナシ  
*Rosa rugosa* var. *plena*



2016. 5. 19

カラフトイバラ  
*Rosa davurica* var. *alpestris*



2016. 5. 6



2016. 8. 3



2016. 8. 3

文：野村和子

## Keisen Wild Rose Garden の一年

このバラ園では野生種の特徴として、花が一斉に咲くのではなく、種類の違いによって順々に咲いてゆく様子が見られます。また花が咲き終わった後には、実を觀賞することができます。

花期/ 作業等	1月	2月	3月 ★	4月	5月 ★○	6月	7月	8月	9月	10月 ★	11月 ●	12月
花の見頃					←————→				←————→			
実の見頃								←————→				
植え付け	←————→											←————→
剪定	←————→											
誘引	←————→											←————→
施肥	←————→											
除草				←————→								

\*★はオープンガーデン、○はスプリングフェスティバル、●は恵泉祭を表しています。

\*「花の見頃」の5月から7月の太線は最盛期です。

\*天候によって開花期にズレが生じることがあります

### 2015年7月 日本の野生種の植え付け、除草



2015年4月 イザヨイバラ

水はけの悪い土地だったため、どのバラを植えるときも、大きな穴(60×60cm)を掘りました。その甲斐あって大きく育ちました。

## Keisen Wild Rose Garden への想い

野村和子先生へのインタビュー

Q: *Keisen Wild Rose Garden* 予定地の最初の印象はいかがでしたか?

A: いくら野生種であってもこんなところにバラが育つのだろうか?それくらい一面チガヤだらけのひどい土地でした。しかも掘れば石ころと廃材がゴロゴロ。皆さん本当に一生懸命たたかってくださいました。

チガヤは取っても取っても生えてくる植物です。しかし、それから3年、チガヤはみごとに取り除かれました。作業にご協力くださった皆様のおかげです。バラ園にご賛同くださった多くの方々の熱意ででき上がり、しかもその熱意はみごとにバラをしっかりと育ててくれました。

Q: *Keisen Wild Rose Garden*を見て、自分も野生種を育ててみたいと思った方へ、育てる上で大変なことや野生種の強みを教えてください。

A: 野生種の栽培法に関する参考書が少ないため、育てながら独自のやり方を見つけていかなければならないのが大変なところです。現代のバラと比べると丈夫で、農薬なしでも育てられるのが野生種の強みです。ただし、北アメリカやヨーロッパの野生種を育てるとき、日本では必ずしも丈夫に育つとは限らない場合もあります。

Q: 見学にいらした方へのメッセージをお願いします。

A: 一般的なバラ園を頭に思い浮かべてこのバラ園をご覧になると、一重や小ぶりのバラが多いのに驚かれる方も多いことでしょう。それほど現代のバラと野生種の間には開きがあります。現代のバラにいたるまでに、美しさを求めての人々の努力がいかにあったことか。その過程を科学的、歴史的に追及し、あるいはロマンチックな想像に胸をふくらませる、ここはそんなバラ園です。

(聞き手: 戸川)

## 野村和子先生のプロフィール

恵泉女学園中学高校、  
短期大学園芸科卒業。

京成バラ園芸（株）研究所にて、  
ミスターローズとして世界的に  
有名な故鈴木省三氏の助手を務める。



その後 NPO バラ文化研究所の理事として  
佐倉市草ぶえの丘バラ園の立ち上げに携わり、現在に至る。  
平成 20 年度園芸文化賞受賞。

恵泉女学園園芸文化研究所の公開講座「バラに学ぶ」講師  
（2007 年度～2016 年度）。

恵泉女学園恵泉フラワースクール園芸文化講座講師。  
著書「オールドローズ花図譜」（小学館）、他多数。

この冊子の作成にあたっては、恵泉女学園大学の研究助成「環境負荷の少ないバラ園普及に向けて」（代表：菊地牧恵）を受けています。また、「社会園芸実践法」「社会園芸実践 I」の一環として学生が作成しました。

バラの名前は Modern Roses 12 (Marilyn A. Young, 2007) に依っています。

## *Keisen Wild Rose Garden*

～オーガニックの野ばらの庭～ ガイドブック

制作 恵泉女学園大学人間社会学部社会園芸学科 2年戸川歩美、猫田佳寿

指導 野村和子・宮内泰之

監修 恵泉女学園花と平和のミュージアムバラ園運営委員会

表紙イラスト 水村明香

発行日 2017年3月20日

URL <http://www.keisen.ac.jp/>

＊無断での複写、複製を禁じます。ご希望の方はご連絡ください。

東京都多摩市南野 2-10-1 恵泉女学園大学園芸教育室

e-mail : [engei@keisen.ac.jp](mailto:engei@keisen.ac.jp)

学生プロデュース  
*Keisen Wild Rose Garden*  
～オーガニックの野バラの庭～ガイドブック



ヤエハマナシ *Rosa rugosa var. plena*

**よりよいバラ園をつくるためにご協力下さい**

**\* 作業へのご参加 \***

「ゼロからはじめるバラ園づくり」の作業へのご参加をお待ちしております。作業日は、決まり次第、大学及び同窓会の公式サイトに掲載しております。

**\* ご寄付のお願い \***

これまで多くの皆様からのご寄付により、*Keisen Wild Rose Garden* にアーチ、ガゼボ、つるバラ用のポールや網、パーゴラ、トレリス、ベンチなどを設置してきました。

今後も、維持管理のために引き続き寄付を募らせていただきます。多くの方々になんらかの形で携わっていただき、皆さまにとって「私のバラ園」と思っただけだと、うれしく思います。どうか引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。